

平成26年度当初予算 特色のある主な事業

平成26年2月19日

宮崎県都城市

平成26年度当初予算 特色のある主な事業 目次

都城市が持つ《3つの宝》を、より一層輝かす！

① 農林畜産業の振興

- | | | |
|------------------------|-------|-----|
| (1) 6次産業化推進事業 | | 資料1 |
| (2) 全国和牛能力共進会対策事業 | | 資料2 |
| (3) 宮崎牛(都城産)ブランド確立推進事業 | | 資料3 |

② 「地の利」活用策

- | | | |
|-------------------------------------|-------|------|
| (1) 都城志布志道路整備関連事業 | | 資料4 |
| (2) 山之口SAスマートIC整備事業 | | 資料5 |
| (3) 山之口SAスマートIC利活用促進事業 | | 資料6 |
| (4) 基幹道路等の整備 | | 資料7 |
| (5) 雇用創出ゾーン整備事業
(都城インター工業団地整備事業) | | 資料8 |
| (6) 健康医療ゾーン整備事業
(都城市郡医師会病院等整備事業) | | 資料9 |
| (7) 後方支援拠点都市推進事業 | | 資料10 |
| (8) 大規模災害に備えた地域の防災力向上事業 | | 資料11 |

③ 人間力あふれる子どもたちの育成

(1) ALTによる語学指導事業	資料 12
(2) 小学校図書館サポーター配置事業	資料 13
(3) 小中学校施設の耐震補強事業	資料 14
(4) 早水公園整備事業	資料 15
(5) 高城運動公園整備事業	資料 16
(6) 都城島津伝承館特別展開催事業 (都城島津邸開館5周年記念事業)	資料 17

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

(1) 都城市PRロゴ作成事業	資料 18
(2) 都城市PR推進事業	資料 19
(3) 「肉と焼酎のまち・都城」推進事業	資料 20
(4) 合併10周年記念都城島津家史料特別展	資料 21

中心市街地の活性化

(1) 中心市街地中核施設整備支援事業	資料 22
(2) まちなか活性化プラン事業	資料 23

その他の特色のある主な事業

(1) 骨髄移植ドナー支援事業	資料 24
(2) ご当地ラジオ体操推進事業	資料 25
(3) 放課後児童クラブ事業	資料 26
(4) 健康増進施設利用助成事業(施設の利用範囲拡大)	資料 27
(5) 庁舎北側身障者駐車場増設事業	資料 28
(6) 都城運動公園整備事業(庭球場改修事業)	資料 29
(7) クリーンセンター建設事業	資料 30

地域活性化事業

資料 31～35

都城市が持つ《3つの宝》を、より一層輝かす！

① 農林畜産業の振興

六次産業化推進事務局

(1) 6次産業化推進事業

1 事業目的

本市の基幹産業である農林畜産業は、担い手の減少、高齢化、所得の減少など厳しい状況にあります。そこで、市内で生産された農林畜産物の付加価値を高める6次産業化の取り組みを、生産・加工・販売等の各段階において支援することにより、農林畜産業の活性化など、地域経済全体の発展を図ることを目的とします。

2 事業概要

《主な支援事業》

生産	<ul style="list-style-type: none"> ○園芸振興対策事業【農産園芸課:既存事業】 ○肉用牛担い手農家支援事業【畜産課:既存事業】
周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○「はばたけ都城」6次産業化推進事業【六次産業化推進事務局】 <ul style="list-style-type: none"> ・はばたけ都城六次産業化推進協議会負担金 ・6次産業化ネットワークシステム構築(6次化情報バンク) ○6次産業化リーダー育成事業【経営戦略課】 ○6次産業化推進活動事業(勉強会開催/アンケート調査)【農政課】
加工・製造	<ul style="list-style-type: none"> ○「はばたけ都城」6次産業化推進事業【六次産業化推進事務局】 <ul style="list-style-type: none"> ・はばたけ都城6次産業化総合対策事業(施設整備/ソフト)
流通・販売	<ul style="list-style-type: none"> ○6次産業化定期市出店支援事業【商業観光課】 ○地場産品販路開拓促進事業【工業振興課】 <ul style="list-style-type: none"> ・食材試食商談会/同郷人会販売PR/展示商談会への出展 ・農商工連携スタートアップ支援 ○地場食材利用調査研究事業【農政課】 ○新冷凍技術施設整備事業(調査)【畜産課】

《6次産業化のパターン》



3 予算額

52,050千円



(2) 全国和牛能力共進会对策事業

1 事業目的

今後開催される宮崎県畜産共進会において都城地域の団体優勝、併せて平成29年に開催される第11回全国和牛能力共進会宮城県大会において、本市が宮崎県3連覇の一翼を担うために、必要な対策及び予算措置を講じ、生産者・関係機関一体となった取り組みを推進します。そして、名実ともに「日本一の和牛産地」の称号獲得を目指します。

2 予算額 57,910千円

- | | |
|---|----------|
| ①新規種雄牛人工授精推進事業
地元産新規種雄牛精液の生産農家への種付け(人工授精)推進 | 4,400千円 |
| ②新規種雄牛肥育素牛導入事業
地元産新規種雄牛の肥育枝肉成績とデータ収集の早期判明と公表 | 13,000千円 |
| ③和牛共進会プロジェクト事業
出品予定農家及びJA・行政職員の畜産技術の相互研鑽 | 450千円 |
| ④都城牛繁殖素牛促進事業
より高いレベルの候補牛の選定と管理指導 | 37,500千円 |
| ⑤共進会对策指定交配推進事業
超優秀母牛への重点交配による共進会候補牛の作出
(※人工授精実行及び受胎確認時の農家への協力費助成) | 2,560千円 |



(3) 宮崎牛(都城産)ブランド確立推進事業

1 事業目的

新規市場である東京食肉市場(芝浦)への継続出荷の取り組みを支援することにより、安心・安全・高品質という信頼を得られる食肉を提供し、肥育農家の経営安定と宮崎ブランドとしての都城牛や宮崎ハーブ牛の銘柄の確立を図ります。

2 事業概要

(1) JA都城が東京食肉市場に生体出荷する場合

輸送経費の一部助成 …… 1頭当たり上限5,000円

(2) 宮崎県乳用牛肥育事業農業協同組合(乳肥組合)が東京食肉市場に生体出荷する場合

輸送経費の一部助成 …… 1頭当たり上限5,000円

3 予算額

1,590千円

	年間出荷予定頭数	備考
JA都城	288頭	24頭/月×12ヶ月
乳肥組合	30頭	24頭/月×12ヶ月×10%(都城産)
計	318頭	

※東京食肉市場は、品川駅南口に位置し、「と場」と「市場」の二つの部門から成り立っています。

東京都に11ヶ所ある中央卸売市場の中で、唯一、肉を取り扱う市場で、取扱高は食肉市場として全国一の規模です。

(1) 都城志布志道路整備関連事業

1 事業目的

都城志布志道路は、①南海トラフ巨大地震等が発生した場合の人的・物的支援を行う「防災の道」、②企業誘致や六次産業化の推進に資する「経済の道」、③本地域の新救急医療体制の構築を支える「医療の道」としての機能を発揮するとともに、渋滞や事故、騒音・振動等からの住環境の改善など、活力ある都城広域定住自立圏を形成するために重要な地域高規格道路です。

さらなる整備促進及び開通後の活用に向けた展望を描くために、「整備・活用促進大会(仮称)」を開催し、道路整備の必要性を広く住民に啓発するとともに、早期全線開通に向けた機運を盛り上げていきます。

2 事業概要

(1) 都城志布志道路整備・活用促進大会(仮称)の開催

- 大会を開催し、意見発表、講演、大会決議を行います。
- 民意を反映した大会決議を国会議員、関係省庁に届けます。

(2) 広報啓発

- 新聞への記事掲載、啓発看板の設置、懸垂幕の製作を行います。

(3) 啓発活動支援

- 整備・活用促進に関する民間の啓発・提言活動を支援します。

(4) 都城志布志道路建設促進協議会負担金

- 都城市、曾於市、志布志市の3市による要望活動を推進します。

3 予算額

8,083千円



※大会開催イメージ

(2) 山之口SAスマートIC整備事業

1 事業目的

山之口SA(サービスエリア)スマートIC(インターチェンジ)を設置することにより、①日常生活の利便性の向上・広域就業への対応、②圏域ポテンシャルを活かしたさらなる産業の振興、③新たな観光の振興、④救急搬送への対応による救急救命体制の向上、⑤災害への対応等を図ります。

2 事業概要

山之口SAスマートIC設置に伴う関連道路整備

事業期間 平成25年度～平成28年度

総事業費 317,034千円

平成25年6月に国の連結許可が下りました。

本年度は、補償調査、用地補償及び一部工事施工を実施します。

3 予算額

本年度事業費 197,419千円

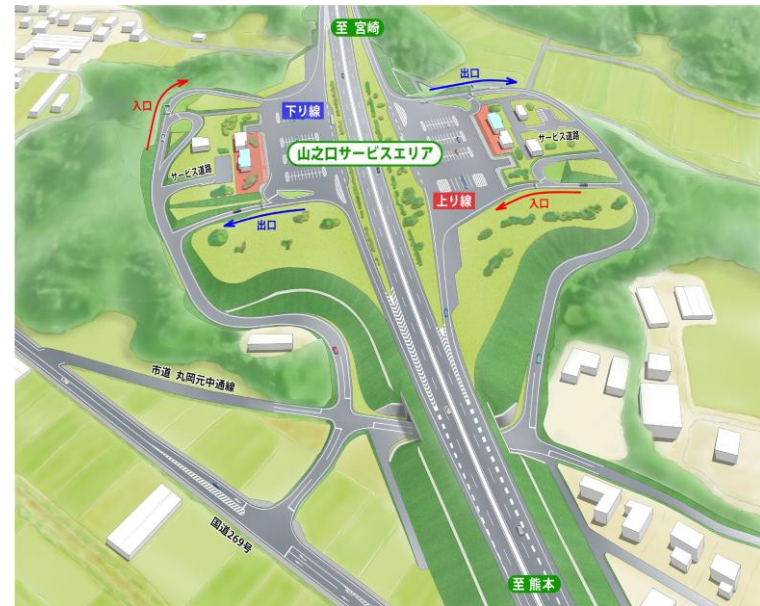
(事業費内訳)

補償調査 5,000千円

用地補償費 52,000千円

工事請負費 140,000千円

事務費 419千円



山之口SAスマートIC完成予想図

(3) 山之口SAスマートIC利活用促進事業

1 事業目的

山之口SAにスマートICが整備されることに伴い、その利用を促進し、地域の活性化と交流促進を図ることを目的とします。

2 事業概要

市民及び事業者に対し、ETC車載器を新たに購入して取り付けした場合、ETC車載器の購入、設置工事及びセットアップに要した経費の一部を補助します。

なお、本事業は三股町と連携して実施します。

【補助対象者】・都城市又は三股町のセットアップ取扱店で、新品のETC車載器を購入及びセットアップして、取り付けしたもの。
(ただし、次の場合は補助の対象外とします。)

①既に取り付けているETC車載器の新品への交換

②所有するETC車載器設置車両の更新に合わせてETC車載器も新品へ更新したもの

・市内に住所を有する者又は市内に事務所及び事業所を有する法人であり、市税を滞納していないもの。

【補助金額】

・車両1台あたり5,000円を補助します。

(対象経費が5,000円に満たない場合は実費額を上限とします。)

・補助する車両は、個人は、1人当たり1車両、法人は、1法人あたり3車両を限度とします。

・予算に定める額を限度とし、予算が無くなり次第、終了します。

山之口SAスマートIC完成予想図



3 予算額

5,553千円

(うちETC車載器設置事業費補助金 5,000円×1,000件=5,000千円)

山之口総合支所・建設課

(4) 基幹道路等の整備

【^{まちく}街区三股線整備事業】

1 事業目的

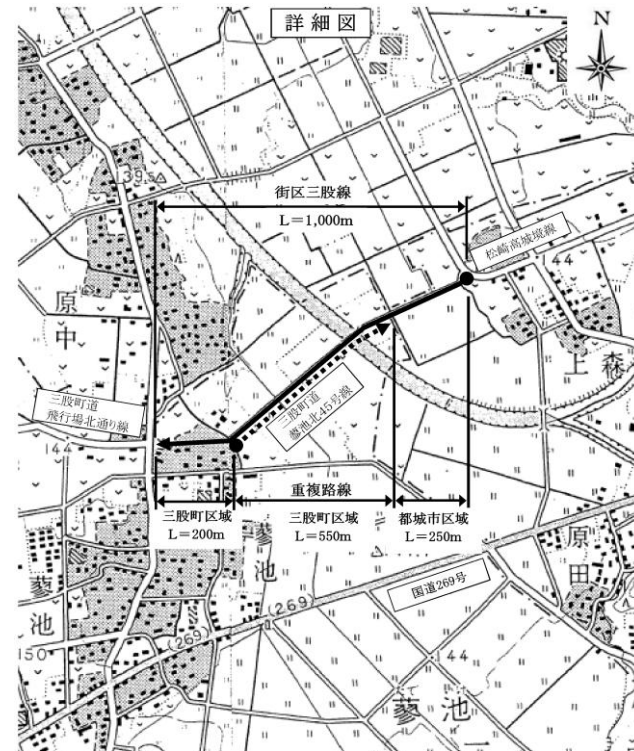
都城市山之口町の中心市街地から、サブシティ構想における健康医療ゾーンへのアクセス道及び山之口地区等への緊急車両の通行経路として、都城市と三股町の行政境を越えた広域的な道路整備であり、より効率的かつ順応性の高い道路形態を目的としています。

2 事業概要

事業期間	平成26年度～平成29年度		
総事業費	706,260千円		
事業延長	L=1,000m	幅員	W=7.0m(5.5m)
道路拡幅工事	L=800m	道路築造工事	L=200m
用地取得	A≒6,000㎡	橋りょう架替	N=2箇所

3 予算額

本年度事業費	33,030千円
(事業費内訳)	
路線測量・詳細設計	11,000千円
橋りょう地質調査・詳細設計	22,000千円
事務費	30千円



(5) 雇用創出ゾーン整備事業(都城インター工業団地整備事業)

【大井手地区:雇用創出ゾーン関連整備事業(大井手地区)】

【穂満坊地区:雇用創出ゾーン関連整備事業(穂満坊地区)、工業用地造成事業】

1 事業目的

都城IC周辺のポテンシャルを最大限に活かして、都城インター工業団地を整備し、周辺の居住・営農・文化教育等との調和を図り、新たな雇用創出による均衡ある発展を目指します。

2 事業概要

都城インター工業団地大井手地区は、緩衝帯に中高木の樹木を植樹し、環境整備を行います。

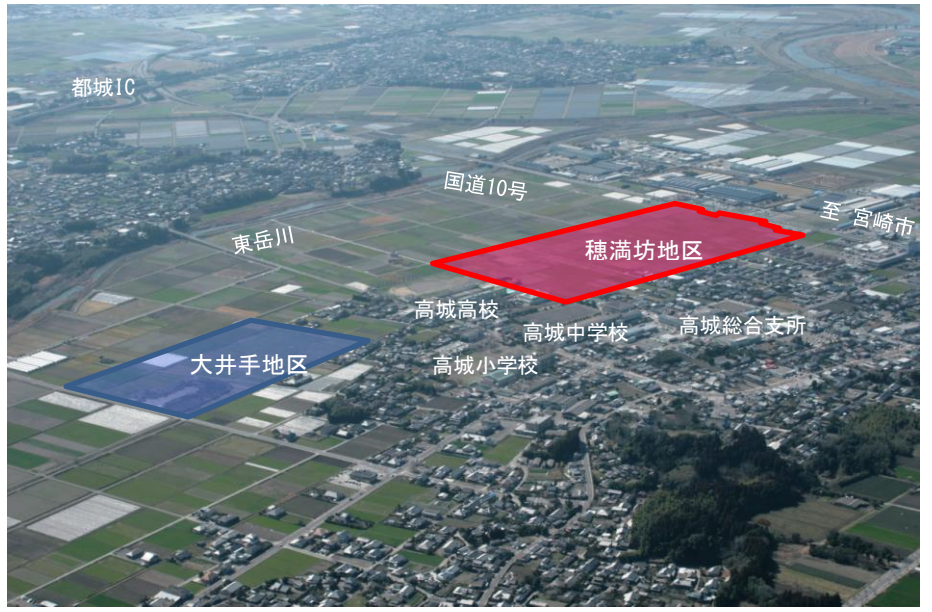
都城インター工業団地穂満坊地区は、分譲用地の造成を進めると共に、道路や緩衝帯などの公共施設を整備します。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大井手地区	造成工事等		植樹	
穂満坊地区	造成工事等			分譲

3 予算額

- ①都城インター工業団地大井手地区 10,000千円
- ②都城インター工業団地穂満坊地区 789,881千円

○都城インター工業団地



(6) 健康医療ゾーン整備事業(都城市郡医師会病院等整備事業)

1 事業目的

健康医療ゾーン整備事業は、現在、大岩田町にある都城市郡医師会病院、都城救急医療センター及び都城健康サービスセンターを本市の人口重心点に近い太郎坊町に移転新築するものです。本施設等を一体的に移転し、広域の高次救急医療拠点として整備することにより、都城圏域住民の安心安全の向上を図ります。

2 事業概要

今年度は、平成27年春の開院に向け、病院等施設の建築工事、医療機器等の購入及び多目的広場用地の土地造成等工事を実施します。

- ・診療科 12科
- ・ベッド数 220床
- ・屋上ヘリポート新設
- ※移転に合わせ医療機器も更新します。

3 予算額

2,585,266千円

○新しい都城市郡医師会病院等の鳥瞰図



○健康医療ゾーン整備事業工程表

	平成25年度		平成26年度	
建築等工事				
造成等工事				
医療機器等購入・搬入				

(8) 大規模災害に備えた地域の防災力向上事業

1 事業目的

甚大な被害が想定される大規模災害に備え、被害の最小化を主眼とする「減災」の考え方に基づき、住民の自助・共助の取り組みを強化するため、自主防災組織等を育成し、住民の避難体制等を確立します。

また、消防団員の災害現場における安全を確保する装備等の充実を推進します。

2 事業概要

- ①自主防災組織のリーダー育成(防災士資格認証登録料助成)
- ②自主防災組織の育成(結成組織への防災資機材購入助成)
- ③一次避難所等の環境整備(非常用発電機、投光器、備蓄品保管庫の配備)
- ④消防団の機動力向上対策(防滴型の携帯型地域振興MCA無線機配備)
- ⑤消防団員の安全管理対策(ヘルメットヘッドランプ配備)

3 予算額

47,394千円

【内訳】

- | | |
|------------------------|----------|
| ①自主防災組織結成費(防災士養成事業補助金) | 250千円 |
| ②自主防災組織結成事業 | 9,000千円 |
| ③防災力向上事業 | 6,005千円 |
| ④消防団員通信無線機整備事業 | 23,620千円 |
| ⑤消防団員安全装備品整備事業 | 8,519千円 |



(1) ALTによる語学指導事業

1 事業目的

ALT(外国語指導助手)の語学指導を通して、語学向上並びに豊かな国際感覚を身に付ける機会を提供します。

2 事業概要

市内全小学校第5、6学年の外国語活動、全中学校全学年の英語科の授業等にALTを派遣し、次のような業務を行います。

- ・授業での担任による指導の補助
- ・教材作成等の支援
- ・外国語スピーチコンテストの支援や、地域の国際交流活動への協力 など

3 配置計画 平成28年度までに倍増(予定)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人数	7名	9名	11名	13名	14名

平成24年度から地域在住外国人をALTとして雇用し、計画的にALTの増員を進めています。

平成26年度は平成25年度から地域在住外国人を含むALT2名を増員し11名(JETプログラムALT 4名、地域在住外国人ALT7名)とし、学校への派遣回数を増やし、児童生徒の語学向上や豊かな国際感覚の育成の機会を一層充実させていきます。

また今後は、計画的にALTの増員を行い、平成28年度には14名に倍増し、英語教育環境のさらなる充実を図っていきます。

4 予算額

35,325千円



(2) 小学校図書館サポーター配置事業

1 事業目的

都城市内の小学校に小学校図書館サポーターを配置し、学校図書館活用の工夫や環境の改善、読書活動の充実を図ることで、児童の読書への興味や関心を高め、読書活動を推進します。

2 事業概要

市内の小学校に図書館サポーターを配置し、次のような業務を行います。

- ・本を紹介するイラストカードの作成や掲示などの図書館設営
- ・国語などの授業における読み聞かせやブックトークなどの授業サポート
- ・昼休み時間や給食時間に児童への読み聞かせ活動
- ・本の修理や図書の選本、レファレンス など

3 配置計画 平成28年度までに倍増(予定)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人数	10名	13名	16名	18名	20名

4 予算額

11,458千円



(3) 小中学校施設の耐震補強事業

1 事業目的

小中学校施設の耐震補強事業は、文部科学省の「公立の義務教育諸学校施設の整備に関する施設整備基本方針」により、構造耐震指標(Is値)0.7以上の耐震性能を有する学校施設として補強を行うものです。平成27年度末までに耐震化率100%を目指します。また、快適な学習環境、地域に開かれた学校づくりのために、バリアフリー改修工事等も同時に行います。

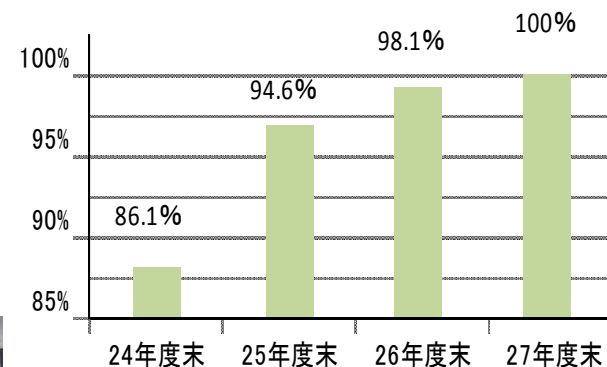
2 事業概要

- 校舎改築 東小(設計委託)
- 校舎耐震補強 縄瀬小(補強工事)
夏尾小、安久小、石山小、有水中(補強設計委託)
- 体育館改築 江平小(解体と附帯設備整備工事)
縄瀬小(改築工事)

3 予算額

462,267千円(7事業)

耐震化率



施工例：姫城中補強

(4) 早水公園整備事業

1 事業目的

「都城市スポーツ施設整備ビジョン(平成18年度策定)」に基づき、早水公園体育文化センターに併設する形態でサブアリーナと武道場を建設し、また、弓道場や駐車場も新設することでスポーツ拠点としての施設の充実を図ります。

さらに、「都城市地域防災計画」に基づく防災活動拠点としての機能向上を図るため、防災公園としての設備拡充を実施します。

2 事業概要

事業期間 平成26年度～平成29年度

総事業費 3,264,000千円

平成26年度は、用地取得と敷地造成工事及び水路の付替工事を行います。また、文化財発掘調査も行います。

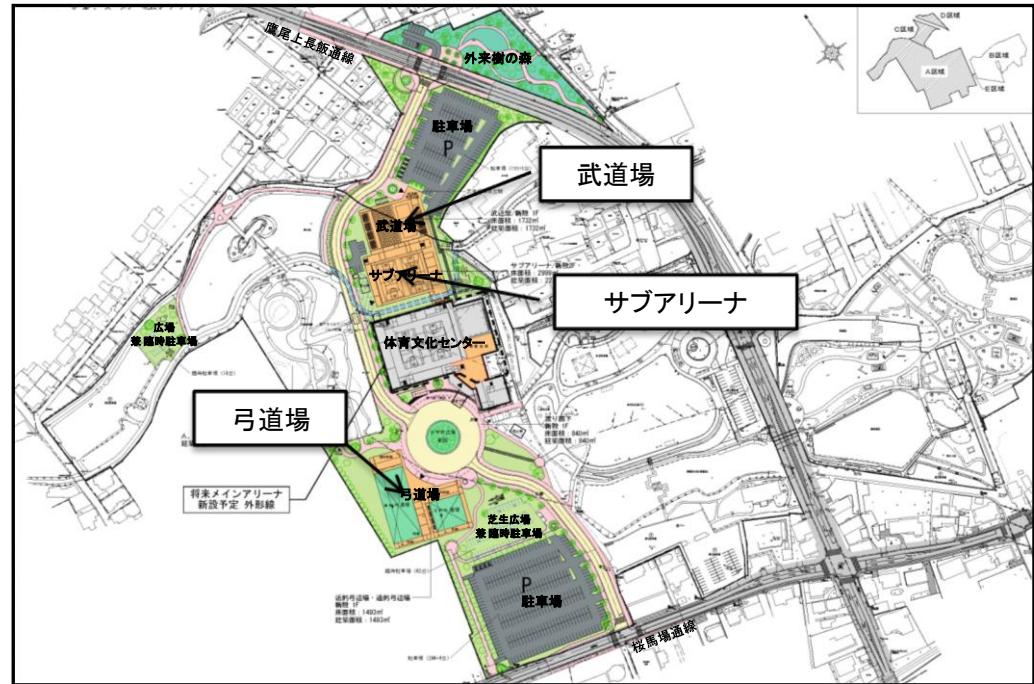
3 予算額

268,500千円

【内訳】

・造成工事、水路付替工事	241,416千円
・文化財発掘調査	8,584千円
・用地取得費	13,412千円
・補償、補てん金	4,588千円
・事務費	500千円

【計画配置図】



(5) 高城運動公園整備事業

1 事業目的

高城運動公園の利用者が安全で快適に競技できる運動施設の充実を図ることを目的として、屋内競技場の整備を進めます。併せて、Jリーグのキャンプ誘致など「スポーツランド都城」を推進します。

2 事業概要

事業期間 平成26年度～平成27年度

総事業費 972,000千円

屋内競技場新設

【施設概要:鉄骨造平屋建 約4,700㎡

人工芝アリーナ(フットサルコート2面・少年野球など)】

屋内競技場監理委託 外

3 予算額

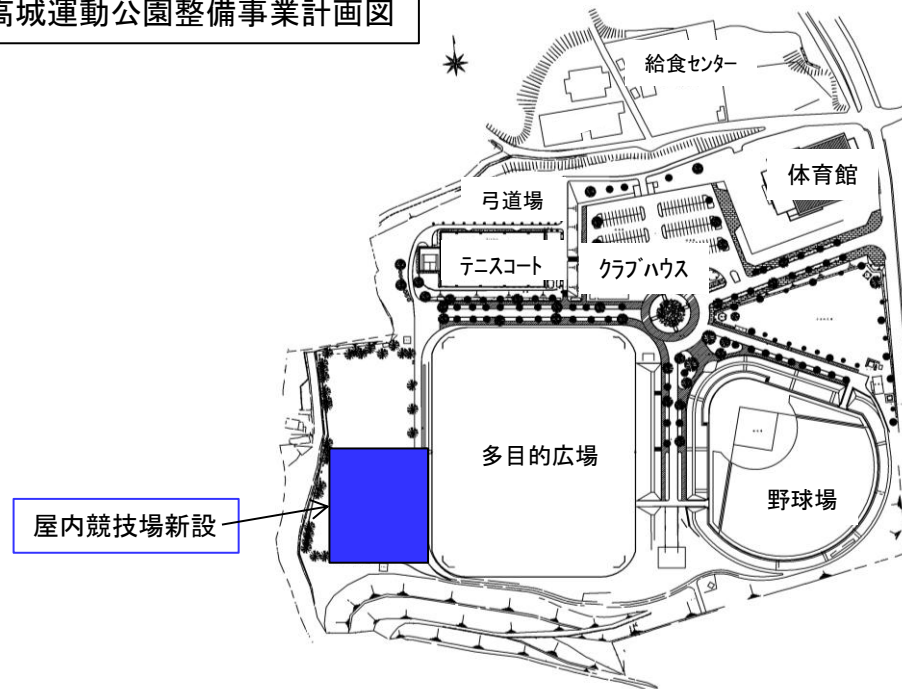
564,000千円

【内訳】

屋内競技場新設 550,000千円

屋内競技場監理委託 外 14,000千円

高城運動公園整備事業計画図



(6) 都城島津伝承館特別展開催事業(都城島津邸開館5周年記念事業)

1 事業目的

開館5周年を記念した展示会及びシンポジウムを開催することで、市民(来館者)の新たな歴史、美術的知見の向上に資するものです。あわせて新たな切り口から南九州や都城の歴史を再認識するものです。また、シンポジウムの開催により、都城の歴史的資源である「都城島津」の情報発信に努め、さらなる知名度の向上を目指します。

2 事業概要

開館5周年を記念して教科書等でも著名な史料による展示会を開催します。惟宗忠久(これむねただひさ)が島津を名乗る経緯や南九州における勢力拡大の展開、分家した都城島津家の誕生と権力基盤確立の過程等、島津家及び都城島津家創業の歴史を、展示において日本史上に位置づけて紹介し、シンポジウムでは都城島津邸への関心度を高めていきます。

【展 示 会】 名称 「島津と北郷の時代 ～鎌倉・南北朝期の南九州～」(仮称)
会期 平成26年10月11日(土)～11月30日(日) 52日間(予定)

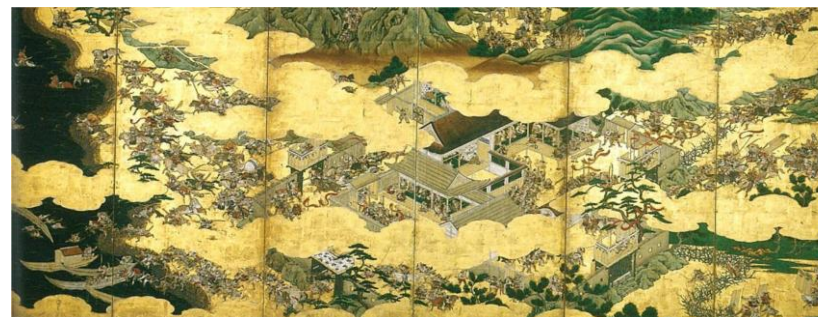
【シンポジウム】 名称 「『島津発祥』と都城－都城島津邸の地域発信力」(仮称)
開催 平成26年11月8日(土)(予定)

【主な展示予定資料】

島津家文書(国宝:東京大学史料編纂所)
伝源頼朝木坐像・伝源頼朝像(ともに複製:神奈川県立歴史博物館所蔵)
足利尊氏像(神奈川県指定)(神奈川県立歴史博物館所蔵)
源頼朝袖判書状(神奈川県立歴史博物館所蔵)
源平合戦図屏風(埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵)
刀(無銘 伝長重 島津家伝来:刀剣博物館所蔵)



伝源頼朝木坐像
(複製:神奈川県立歴史博物館所蔵)



源平合戦図屏風(一の谷:埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵)

3 予算額

11,233千円

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

企画部・経営戦略課

(1) 都城市PRロゴ作成事業

1 事業目的

“都城市”をこれまで以上に対外的にPRするため、著名な書家・紫舟(シシュー)氏にPRロゴの作成を依頼します。そのロゴを各種パンフレットや看板、地場製品の包装等あらゆるものに活用することにより、全国への都城市のPRを推進し、都城ブランドの定着を図ります。

2 事業概要

①ロゴの作成

作成は、国内外で活躍する書家・紫舟(シシュー)氏を予定。

なお、正式決定は、予算の成立及び新年度の契約成立が前提となります。

②ロゴ発表式典の開催

<紫舟(シシュー)氏プロフィール> ~都城PRアドバイザーに就任予定~

書を中心に、書画・立体造形・メディアアートなど幅広く手がけ、日本の思想と伝統文化を、全く新しい表現で世界に発信。「文化の限界をアートで超えていく」挑戦は、海外でも高く評価され、フランスではLaval Virtual「設計文化芸術賞」を受賞、またフランスのZOOM Japonが選ぶ「明日の日本を創る50人」に選ばれました。国内では、政府・NHK・神社仏閣などに作品を提供しています。

主な作品提供先

日本国政府 内閣官房・農林水産省「JAPAN」/ 外務省「APEC Japan 2010」
NHK 大河ドラマ「龍馬伝」/ 美術番組「美の壺」
神社仏閣 伊勢神宮 第62回式年遷宮「祝御遷宮」/ 東大寺 年始書初め奉納
海外 スイス「ダボス会議」招待公演展示(2012)
受賞 G1サミット新世代リーダーアワード(2013)

3 予算額

11,076千円

【内訳】

ロゴ作成委託料 6,058千円
ロゴ発表式典開催経費 2,948千円 外



書家・紫舟(シシュー)氏

伊勢神宮 第62回式年遷宮「祝御遷宮」

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

企画部・経営戦略課

(2) 都城市PR推進事業

1 事業目的

市の情報を発信する際、できる限り多くの市民等に伝わるよう広報紙やホームページ、フェイスブック等様々なツールを活用していますが、PR戦略強化の一環として、子どもから大人まで多くの市民に広く伝えるための重要なツールの一つとして、キャラクターを活用します。

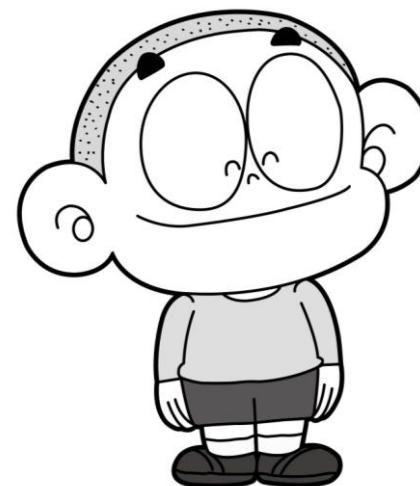
2 事業概要

みやこんじょ大使で唯一のキャラクターである「ぼんちくん」を、これまで以上に広報紙等の様々な媒体に活用し、今後作成されるPRロゴとともに都城市のPRを推進していきます。

なお、市役所若手職員を中心とした活用検討委員会を設置し、継続的に活用方法を検討し、積極的に展開します。

3 予算額

367千円



名前: 諸方ぼんち
年齢: 小学校2年生
特徴: 流暢な都城弁
経歴: 平成16年度 ウエルネス都城特派大使に委嘱
平成25年度 みやこんじょ大使に委嘱

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

商工部・工業振興課

(3) 「肉と焼酎のまち・都城」推進事業

1 事業目的

本市の代表的な地場産品である“肉と焼酎”の地域ブランド化を推進し、物産販売や観光促進など地域経済の活性化につなげるため、「肉と焼酎のまち・都城」のパンフレット等を作成し、全国に広く情報発信します。

2 事業概要

「肉と焼酎のまち・都城」の地域ブランド化を推進するため、「肉と焼酎のまち」をテーマとしたパンフレット及びポスターを製作します。

- ・パンフレット 1万部
- ・ポスター 1,500部(500部×3種類)

3 予算額

- ・パンフレット、ポスター製作委託料 1,323千円



※イメージ図

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

教育委員会・都城島津邸

(4) 合併10周年記念都城島津家史料特別展

【都城島津伝承館特別展開催事業(合併10周年記念事業)】

1 事業目的

平成26年度から取り組む合併10周年記念事業の一環として、都城島津邸において著名な芸術家と都城島津家史料のコラボレーションによる特別展を開催することにより、都城の魅力を全国に発信します。

2 事業概要

都城PR推進事業と合併10周年記念事業を連携させた取組として、書家・紫舟氏と、都城島津家史料の融合による特別展を開催します。紫舟氏の作品については、書画及びメディアアート(インタラクティブアート)という新しい表現手法も交えた、多様な展示を行います。

【展示会】

名称 「みやこんじょ力の発信～紫舟と都城島津家史料の出会い～」(仮称)

会期 平成26年12月～平成27年1月(2か月間程度 詳細日程未定)

【展示予定資料】

都城島津家史料 : 鉄錆地南蛮胴具足・麒麟鳳凰図屏風等を想定

紫舟氏作品 : 書・襖絵・インタラクティブアート「まだかみさまがいたところ
いたころのものがたり」(都城編)などを想定

※都城島津家史料及び紫舟氏作品については、今後の協議により決定されます。

<インタラクティブアート>

コンピューターやプロジェクターなどを用い、例えば、書が人の影に触れるとその書が具現化されるなど、何らかの方法で観客が参加することにより完成する双方向芸術作品



インタラクティブアート:(イメージ)
「まだ かみさまが いたところ いたころの ものがたり」

3 予算額

61,863千円

【内訳】

書画関連展示委託 29,275千円

インタラクティブアート関連委託 22,021千円 外

(1) 中心市街地中核施設整備支援事業

1 事業目的

中心市街地の活性化に向けて、民間事業者が主体となって実施する中核施設整備を支援するものです。
国庫補助事業を活用し、民間事業者による施設整備の円滑化を図るほか、図書館、子育て支援センター、健康センター、全天候型多目的広場等の行政施設を整備することで、新たな都市機能をまちなかに創出し、官民協働で中心市街地全体の活性化を図ります。

2 事業概要

事業期間 平成26年度～平成28年度

総事業費 5,384,747千円

本年度事業内容

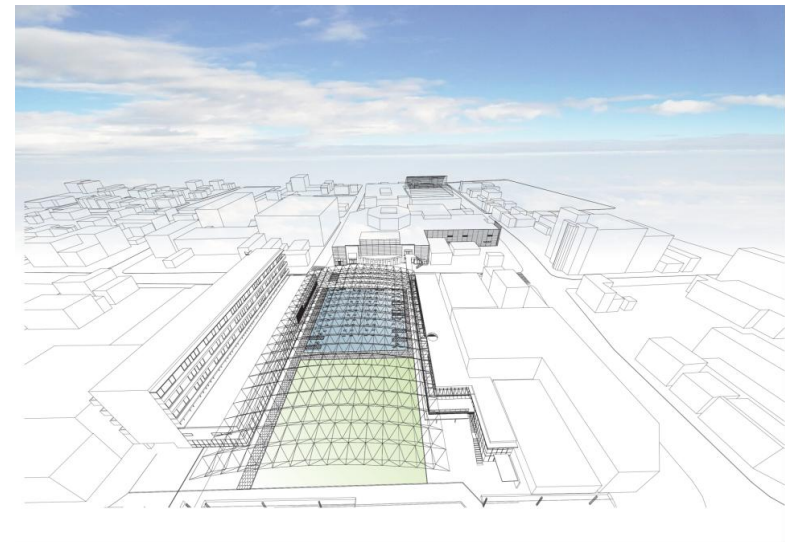
行政施設の整備に必要な公有財産購入、行政施設の基本設計等委託、
商業施設の基本・実施設計等委託(間接補助)を行います。

3 予算額

1,130,400千円

【主な内訳】

・公有財産購入費、補償金	981,722千円
・委託料(基本設計、実施設計等)	144,331千円
・補助金(基本設計、実施設計等)	2,662千円



○中心市街地中核施設の整備イメージ図

(2) まちなか活性化プラン事業

1 事業目的

図書館や子育て支援センターなどの新たな中核施設を整備する旧都城大丸跡地の再生計画案に合わせて、周辺の商店街や中心市街地エリアを対象とした都城市まちなか活性化プランを実施することにより、中心市街地の活性化を図っていくことを目的とします。

2 事業概要

都城市まちなか活性化プランにおいて進行中及び計画されていた事業を、都城商工会議所が行った市民アンケートやワークショップ、各通り会及び地域団体の意見を参考にして見直しを行いました。

その結果、7事業を廃止、3事業を継続、4事業を新たに計画した17事業に統合し、実施するものです。なお、プランの実施年度は平成26年度～平成28年度の3ヶ年としています。

3 予算額

10,957千円

・タウンマネージャー配置調査事業	496千円	・商店街イルミネーション事業	900千円
・シルバーアンテナショップ支援事業	2,120千円	・まちなか情報発信支援事業	400千円
・空店舗リフォーム・解体事業費補助金	2,400千円	・まちなか起業支援事業	300千円
・コミュニティ型賃借料補助事業	900千円	・レンタサイクル支援事業	189千円
・中心市街地活性化資金利子補給制度	876千円	・はばたけ未来の巨匠！高校生レストラン事業	600千円
・新規創業ロングサポート制度	876千円		
・アーケード等街路灯のLED化事業	900千円		



商店街イルミネーションのイメージ

(1) 骨髄移植ドナー支援事業

1 事業目的

公益財団法人日本骨髄バンクが実施している骨髄バンク事業において、骨髄または末梢血幹細胞を提供した人の負担を軽減し、多くの骨髄又は末梢血幹細胞移植の実現及びドナー登録者の増加を図ります。

2 事業概要

(交付対象)

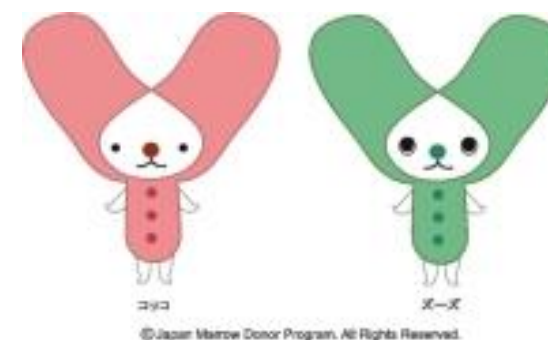
- (1)市内に住所を有し、財団が実施する骨髄バンク事業において骨髄又は末梢血幹細胞の提供を完了し、これを証明する書類の交付を受けた人
- (2)その人が勤務している事業所

(奨励金の額)

- (1)ドナーに対する奨励金の額は、1日につき2万円(1回の骨髄等の提供につき14万円を限度とする。)
- (2)事業所に対する奨励金の額は、1日につき1万円(1回の骨髄等の提供につき7万円を限度とする。)

3 予算額

420千円



骨髄バンクイメージキャラクター
「コココ」と「ズーズ」

(2) ご当地ラジオ体操推進事業

1 事業目的

子どもから高齢者まで誰もが知っているラジオ体操を、誰もが笑顔になれる都城の方言版で作成し、その普及を促し、市民の健康増進を図ります。また、幼少期から方言に触れることで、郷土愛の醸成を図ります。このことにより、スマイルシティ都城を推進します。

2 事業概要

ラジオ体操を、都城の方言に変え、「みやこんじょ弁ラジオ体操」のCDを作成します。当該CDを、学校や公民館等に配布し、その普及を図ります。また、スポーツイベント等においても、活用します。

なお、作成に当たっては、方言に詳しい市民を構成員とした委員会を設置し、検討します。

3 予算額

866千円

【内訳】

CD制作委託料 393千円 外



(3) 放課後児童クラブ事業

1 事業目的

仕事などで昼間保護者が家庭にいない小学生に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図るものです。
女性の就労の増加や少子化が進行する中、仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成対策として重要な役割を担っています。

2 事業概要

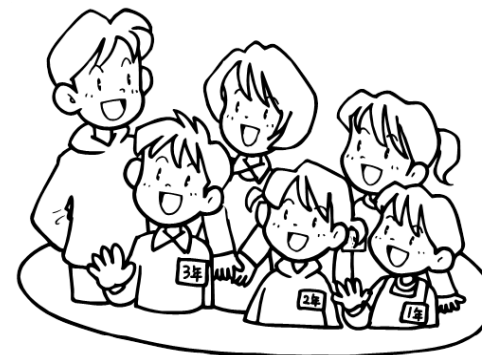
共働き、ひとり親家庭の子どもたちは、放課後や春・夏・冬休みなどの学校休業日には、子どもだけで過ごすことになります。
子どもたちが、安全で充実した生活を送ることができるよう、保護者が働いている間、小学校の空き教室などの施設を利用して、子どもたちに遊びの場、生活の場を提供しています。

放課後児童クラブ事業は、平成9年の川東小学校児童クラブの開設を皮切りに、年々拡充を図ってまいりました。
平成26年度に「石山小放課後児童クラブ」を開設することとなり、これでほぼ全ての小学校区に放課後児童クラブもしくは放課後子ども教室が整備されることとなります。

3 予算額

215,421千円

【内訳】	○放課後児童クラブ事業(直営)	82,144千円
	○法人立放課後児童クラブ事業	116,004千円
	○保護者会放課後児童クラブ事業	17,273千円



その他の特色のある主な事業

福祉部・福祉課

(4) 健康増進施設利用助成事業(施設の利用範囲拡大)

1 事業目的

- 本市では、65歳以上の高齢者及び身体障害者手帳等所持者の健康増進を目的に、健康増進施設(温泉施設)の入浴料助成を行っています。
- 1回の入浴に対し、100円の自己負担で利用できます。(ボルベリアダグリは、200円の自己負担です。)
- 一人につき年間20回利用できます。

2 事業概要

- 現在、市内の公設温泉5施設を対象に実施しています。
- 定住自立圏における公共施設の相互利用を図る目的で、平成26年4月から、都城広域定住自立圏の協定を結ぶ市と町のうち、公設温泉施設を持たない三股町を除く曾於市と志布志市の5施設を新たに対象とし、利用者の利便性向上及び圏域の交流促進を図ります。

これまでの施設		追加施設	
地区	施設名	地区	施設名
都城市	青井岳温泉	曾於市	メセナ住吉交流センター
	観音さくらの里		財部温泉健康センター
	かかしの里ゆぽっぽ		大隅弥五郎伝説の里
	やまだ温泉	志布志市	国民宿舎 ボルベリアダグリ
	ラスパたかざき		蓬の郷 <small>よもぎ さと</small> ふれあい交流センター

3 予算額

67,782千円



(5) 庁舎北側身障者駐車場増設事業

1 事業目的

庁舎北側駐車場に屋根付きの駐車スペースを設け、庁舎まで濡れずに安全に移動できるよう改善します。また、身障者・高齢者等の同乗者が雨に濡れないよう玄関付近で乗り降りできる場所も設けます。

2 事業概要

- ① 庁舎北側駐車場のキャノピー先端部にある緑地帯の一部を解体し、2台分の屋根付き駐車スペースを設けます。
- ② 西館玄関付近のキャノピー下に乗降場所を設けます。
- ③ トラック等の荷下ろし場を設置し、玄関付近の通行者の安全確保と通行渋滞の緩和を図ります。

3 予算額

12,165千円

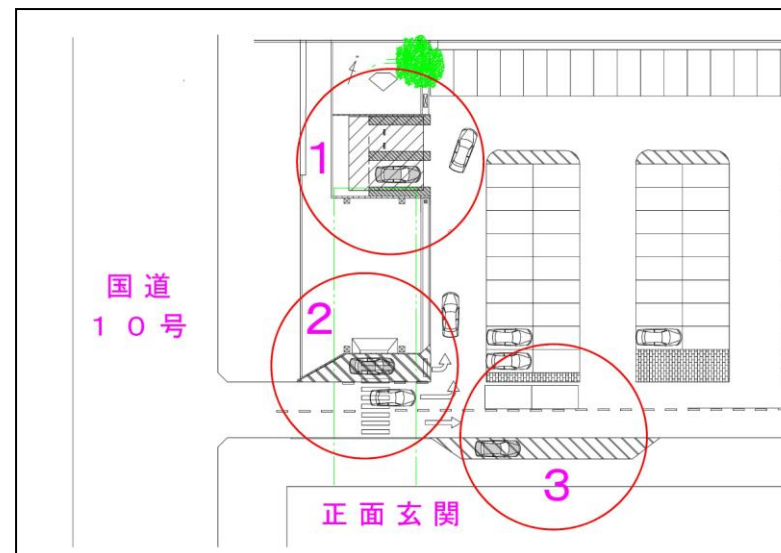
【内訳】

設計委託料 1,000千円

改修工事費 11,165千円



屋根付き駐車場・乗降場所改修後イメージ



改修箇所平面図

(6) 都城運動公園整備事業(庭球場改修事業)

1 事業目的

妻ヶ丘町の都城運動公園内にある庭球場の改修を行うことにより、雨天時の競技大会の円滑な開催運営や合宿等の誘致が期待されます。

2 事業概要

都城運動公園庭球場改修

◇クレイ(グリーンストーン)コート6面を砂入り人工芝コート(全天候型コート)に改修します。

3 予算額

70,000千円

【都城運動公園】

点線箇所…整備箇所



(7) クリーンセンター建設事業

1 事業目的

清掃工場の老朽化に伴い、新たなごみ焼却施設となるクリーンセンターの整備を進めています。この施設には、今まで燃やせないごみとして処理されていたビニール類などを適正に焼却できるほか、ごみ焼却処理に伴い発生する熱エネルギーを回収して発電するサーマルリサイクルを行える特長があります。また、環境負荷の低減を図り、循環型社会の形成を推進する基幹的な施設となることを目指します。

2 事業概要

[事業箇所] 都城市山田町山田

[敷地面積] 約25,870㎡

[主要設備] ストーカ炉方式 施設規模:230t/日(115t/日×2炉)
発電出力:4,990kW

[総事業費] 8,887,450千円

[事業スケジュール予定]

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
環境アセスメント		造成工事等		施設本体工事 (設計を含む)			施設稼働
施設整備基本計画等の策定		事業者選定 アドバイザー業務					

3 予算額

3,016,488千円

予算額のうち主なものは、委託料12,731千円、工事請負費2,974,055千円

① 委託料については、クリーンセンター本体施工監理等委託の経費です。

② 工事請負費については、クリーンセンター建屋・プラントの一部・外柵等の建設費用を計上しています。



地域活性化事業

※地域活性化事業(地域振興基金活用事業)

急激な人口減少や高齢化の進展など、厳しい環境に直面している中山間地域等が抱える課題に対応するとともに地域の振興が期待できる事業を、各地域で企画・実行することで、中山間地域等の活性化を図ります。

【中郷地区地域活性化事業】

市民生活部・中郷地区市民センター

(1) 金御岳整備事業

- 事業概要 サシバ渡りの環境を保ちつつ山頂付近からの眺望や自然景観を良好にすることにより、地域の宝である金御岳公園の魅力向上と地域活性化を図る目的で、地元の中郷地域経済活性化対策協議会が実施する道路脇等の高所支障立木等の伐採除去に対して事業費を補助します。
- 事業主体 中郷地域経済活性化対策協議会
- 事業内容 高所支障立木等伐採除去用の高所作業車等レンタル代
オペレーター、交通整理員等の人件費補助
- 予算額 1,100千円



(2) 地域環境整備事業

- 事業概要 生活環境改善として、中郷地区地域環境整備会が取り組む道路脇の高所支障木や枯死木等の伐採除去に対して事業費を補助します。このことにより、安心安全な生活道路環境が保たれ、明るく住みやすい地域づくりを図ります。
- 事業主体 中郷地区地域環境整備会
- 事業内容 高所支障立木等伐採除去用の高所作業車等のレンタル代、オペレーター、交通整理員等の人件費補助
- 予算額 1,897千円



【山之口地区地域活性化事業】

(1) 地域文化活性化事業

山之口総合支所・地域振興課

- 事業概要 弥五郎どん祭りの広報用ビデオの製作費や祭り会場の案内看板の製作費等に補助を行います。
- 事業主体 山之口弥五郎どん祭り保存会
- 予算額 2,249千円

(2) 地域交流活性化事業(下富吉地域ふれあい広場活性化事業)□

山之口総合支所・地域振興課

- 事業概要 下富吉地域ふれあい広場を活性化するためのイルミネーション設置費や鯉のぼりの購入費に補助を行います。
- 事業主体 下富吉地域公民館
- 予算額 400千円

(3) 地域環境整備事業□

山之口総合支所・地域振興課

- 事業概要 ・永野地域にある島津寒天工場跡地への簡易トイレ設置等の環境整備事業費に補助を行います。
・青井岳駅周辺の花木の植栽に係る経費に補助を行います。
- 事業主体 永野・青井岳地域公民館
- 予算額 1,900千円

(4) 乗合タクシー利用促進事業□

山之口総合支所・地域振興課

- 事業概要 平成25年4月から正式に運行を開始した山之口地区のデマンド型乗合タクシーの利便性の高いことを知ってもらうため、無料試乗体験等を行うことで利用促進を図ります。
- 予算額 160千円

(5) 地域安全推進事業□

山之口総合支所・地域振興課

- 事業概要 交通指導員が各種行事や祭り・イベント時において使用する通信機器(無線機)の購入費に補助を行います。
- 事業主体 都城地区交通安全協会山之口支部
- 予算額 154千円

地域活性化事業

(6) 世代間交流促進事業口

山之口総合支所・地域振興課

- 事業概要 高齢者クラブと小学生が門松づくりを通してふれあう、世代間交流事業に補助を行います。
- 事業主体 山之口町高齢者連絡協議会
- 予算額 391千円

(7) 青井岳の森活性化事業

山之口総合支所・産業振興課

- 事業概要 青井岳の森活性化のための山之口自然の森散策マップ作製費等に補助を行います。
- 事業主体 青井岳の森ふれあい交流実行委員会
- 予算額 756千円

(8) 公園管理協働事業口

山之口総合支所・建設課

- 事業概要 除草用機械を購入して地元に貸し出し、地域と協働で公園管理を行います。
- 予算額 836千円

(9) 文化財施設顕彰事業口

教育委員会・山之口教育課

- 事業概要 山之口町内の史跡を表示する標柱の購入及び設置費に補助を行います。
- 事業主体 山之口町郷土史研究グループ
- 予算額 1,215千円

(10) 健康づくり推進事業口

教育委員会・山之口教育課

- 事業概要 第35回の記念大会となる山之口新春初詣健康マラソン大会の事業費に補助を行います。
- 事業主体 新春初詣健康マラソン実行委員会
- 予算額 350千円



地域活性化事業

【高城地区地域活性化事業】

高城総合支所・地域振興課

防災無線整備事業

○事業概要

浸水区域のある石山、有水地区と土砂災害の警戒が必要な四家地区の自治公民館長と当該地区の消防各部に、災害時の緊急連絡用として携帯用MCA無線機を配備し、災害時の対応の強化を図り、地域防災力の向上と地域で安心して生活できる環境を創出するために事業を実施するものです。

- ・携帯用MCA無線機(防水型)16基を購入
- ・対象地域
浸水区域のある石山、有水地区と土砂災害の警戒が必要な四家地区
- ・配備対象
石山、有水、四家地区の自治公民館長 13名
当該地区の各消防団(都城市消防団高城方面隊 5部、6部、7部)

○予算額

3,200千円



災害時の浸水、土砂災害の対応強化を目的とした携帯型無線機の導入

【山田地区地域活性化事業】

山田総合支所・地域振興課

地域コミュニティ無線整備事業

○事業概要

地域の情報伝達の手段として、自治公民館が整備する、防災行政無線を利用した地域コミュニティ無線の経費の一部を予算の範囲内で助成します。

- ・事業主体 山田地区自治公民館
- ・整備内容 戸別受信機 1,415台 アンテナ 707台

○予算額

17,784千円□□

【高崎地区地域活性化事業】

(1) 地域おこし協力隊活用事業

高崎総合支所・地域振興課

○事業概要

中山間地域である高崎地域の活性化を図るために、地域おこし協力隊員1名を都市部から募集し、地域資源の掘りおこしや地域内外への情報発信などを行うことにより、地域の活性化に取り組みます。

総務省による「地域おこし協力隊」の実施要領に基づき、隊員は市の嘱託職員として雇用し、高崎地区内に居住として地域おこし活動（移住・定住の推進、婚活・体験型民泊等の計画立案、地域農産物の加工・特産品開発・販売等）に地域と協議しながら取り組むものとし、事業終了後は定住を目標とします。

○予算額

3,101千円



(2) 地区公民館分館等機能充実及び各種団体〇A研修事業

教育委員会・高崎教育課

○事業概要

地区公民館分館職員の統合に伴い自治公民館等の民主団体における会議資料、回覧文書の作成事務負担が増大し、パソコン等の〇A機器及びその操作習得は必須となっています。

このため、地区公民館分館等に民主団体が自由に使用できる〇A機器を配備するとともに、パソコン講習会を実施することにより、自治公民館等の民主団体の負担を軽減し、組織運営の円滑化と自主運営を支援します。

○予算額

2,330千円

